



**KOBELCO**

# 平成18年3月期決算 (2005年度) について

2006年4月28日



株式会社 **神戸製鋼所**

**KOBELCO**  
神戸製鋼グループ



1. 2005年度決算の概要
2. 2006年度見通しについて
3. 質疑応答

# 1. 2005年度決算 の概要



ECOWAY

**KOBELCO**

# 2005年度 実績

(単位:億円)

	2004年度 実績	前回 ①	2005年度 実績 ②	差異 ②-①
売上高	14,437	16,600	16,673	73
営業利益	1,665	2,150	2,203	53
経常利益	1,160	1,700	1,769	69
特別損益	△213	△220	△242	△22
当期利益	512	800	845	45



# 特別損益内訳

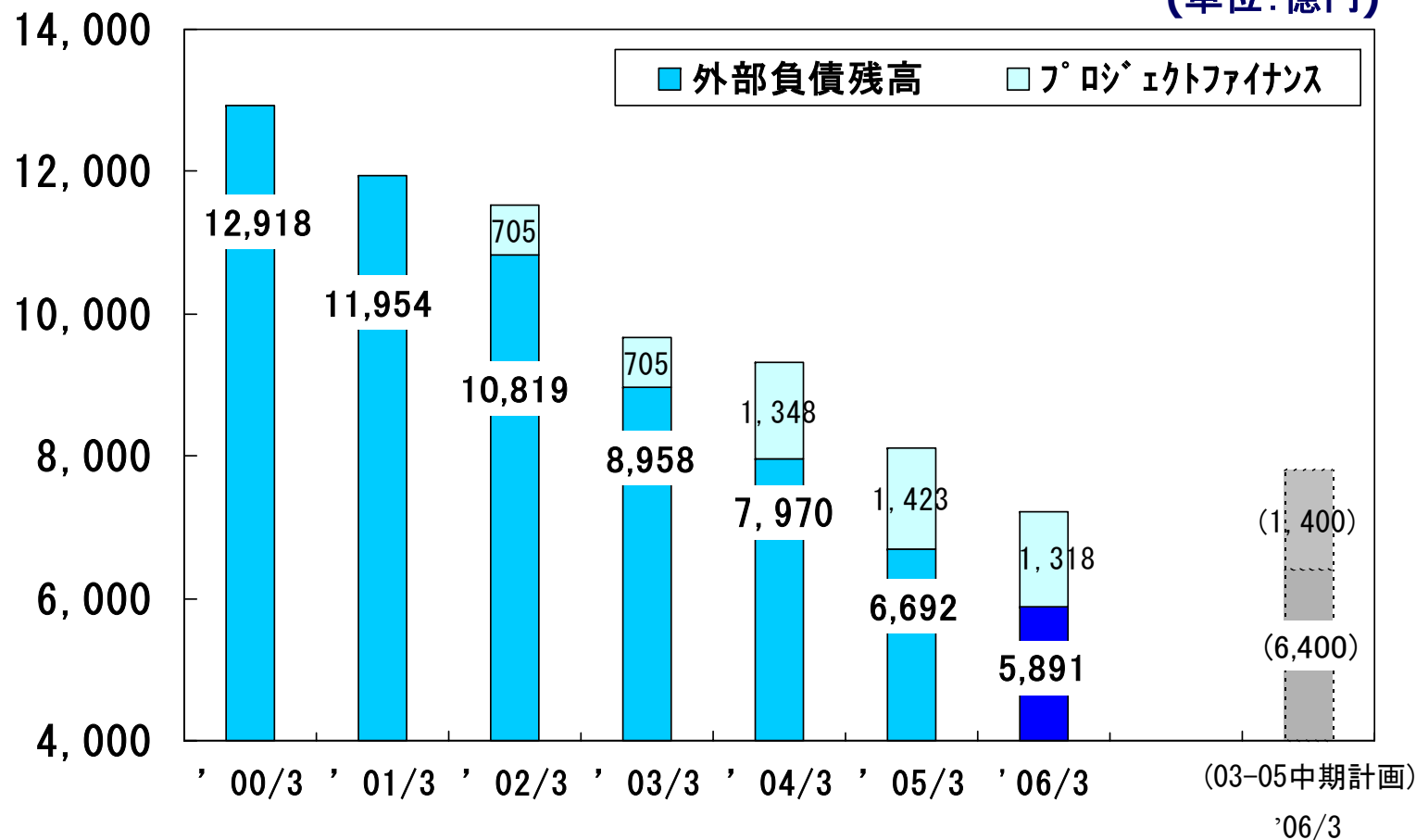
(単位:億円)

	前回 ①	2005年度			差異 ②-①
		実績		年度②	
		上期	下期		
不動産事業分割関連	△141	△141		△141	0
災害損失	△45	△45		△45	0
環境対策費用	△30		△55	△55	△25
合 計	△220	△186	△55	△242	△22



# 外部負債残高

(単位: 億円)



# 株主資本の状況

(単位:億円)

	03年度 末	04年度 末	05年度 末	
資本金	2,181	2,181	2,333	} <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4,737</span> (当社基準)
資本剰余金	679	679	831	
利益剰余金	317	816	1,573	
株式評価差額金	210	254	690	
為替換算調整等	△ 86	△ 138	△ 127	
<b>資本の部合計</b>	<b>3,301</b>	<b>3,792</b>	<b>5,300</b>	(表面)

D/Eレシオ(表面)04年度末: 1.8倍⇒05年度末: 1.1倍  
 (当社基準)04年度末: 1.8倍⇒05年度末: 1.2倍



## 2. 2006年度見通し

について





# 2006年度 業績見通し

(単位:億円)

	2005年度 実績①	2006年度 見通し②	差異 ②-①
売上高	16,673	17,500	827
営業利益	2,203	1,800	△403
経常利益	1,769	1,450	△319
特別損益	△242	0	242
当期利益	845	850	5



# 〈セグメント別の見通し〉



# 2006年度 セグメント別売上高

(単位:億円)

	2005年度 実績①	2006年度 見通し②	差異 ②-①
鉄鋼関連事業	7,583	7,900	317
電力卸供給関連事業	652	700	48
アルミ・銅関連事業	3,049	3,300	251
機械関連事業	2,592	2,750	158
建設機械関連事業	2,270	2,300	30
不動産関連事業	472	400	△72
電子材料その他	611	650	39
消去	△558	△500	58
<b>合 計</b>	<b>16,673</b>	<b>17,500</b>	<b>827</b>



# 2006年度 セグメント別営業利益

(単位:億円)

	2005年度 実績①	2006年度 見通し②	差異 ②-①
鉄鋼関連事業	1,309	950	△359
電力卸供給関連事業	195	190	△5
アルミ・銅関連事業	233	200	△33
機械関連事業	103	120	17
建設機械関連事業	88	90	2
不動産関連事業	51	50	△1
電子材料その他	174	180	6
消去	47	20	△27
合 計	2,203	1,800	△403



# セグメントの概況①【鉄鋼】

(単位:億円)

	実績①	見通し②	②-①
売上高	7,583	7,900	317
営業利益	1,309	950	△359
(内 総平均影響)	(190)	(-)	(△190)

- ・国内・海外ともに、鋼材需要は堅調に推移すると想定。
- ・2006年度の鉄鉱石価格は未決着。
- ・一般・汎用品分野には、市況の動きを反映。
- ・機械装置の減価償却方法を定額法から定率法に変更。(影響額△60億円程度)



# 当社の生産・販売状況

	2004年度			2005年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
全国粗鋼 (万 t)	5,638	5,652	11,290	5,680	5,591	11,271
全国在庫水準 (万 t)	539	526	-	573	2月末 555	-
薄板3品在庫水準 (万 t)	386	393	-	458	2月末 436	-
国内自動車生産台数 (万台)	513	549	1,062	519	10-2月 458	11ヶ月 977
<b>&lt;当社&gt;</b>						
粗鋼生産 (万 t)	380	391	771	383	373	756
鋼材販売量 (万 t)	324	343	667	334	316	650
(内 国内)	(243)	(259)	(502)	(264)	(260)	(524)
(内 輸出)	(81)	(84)	(165)	(69)	(57)	(126)
鋼材販売単価 (円/ t)	53,500	60,900	57,300	71,300	75,300	73,300
鋼材輸出比率 (金額ベース)	26.9%	27.0%	27.0%	23.7%	21.1%	22.4%
(数量ベース)	24.9%	24.5%	24.7%	20.8%	18.0%	19.4%

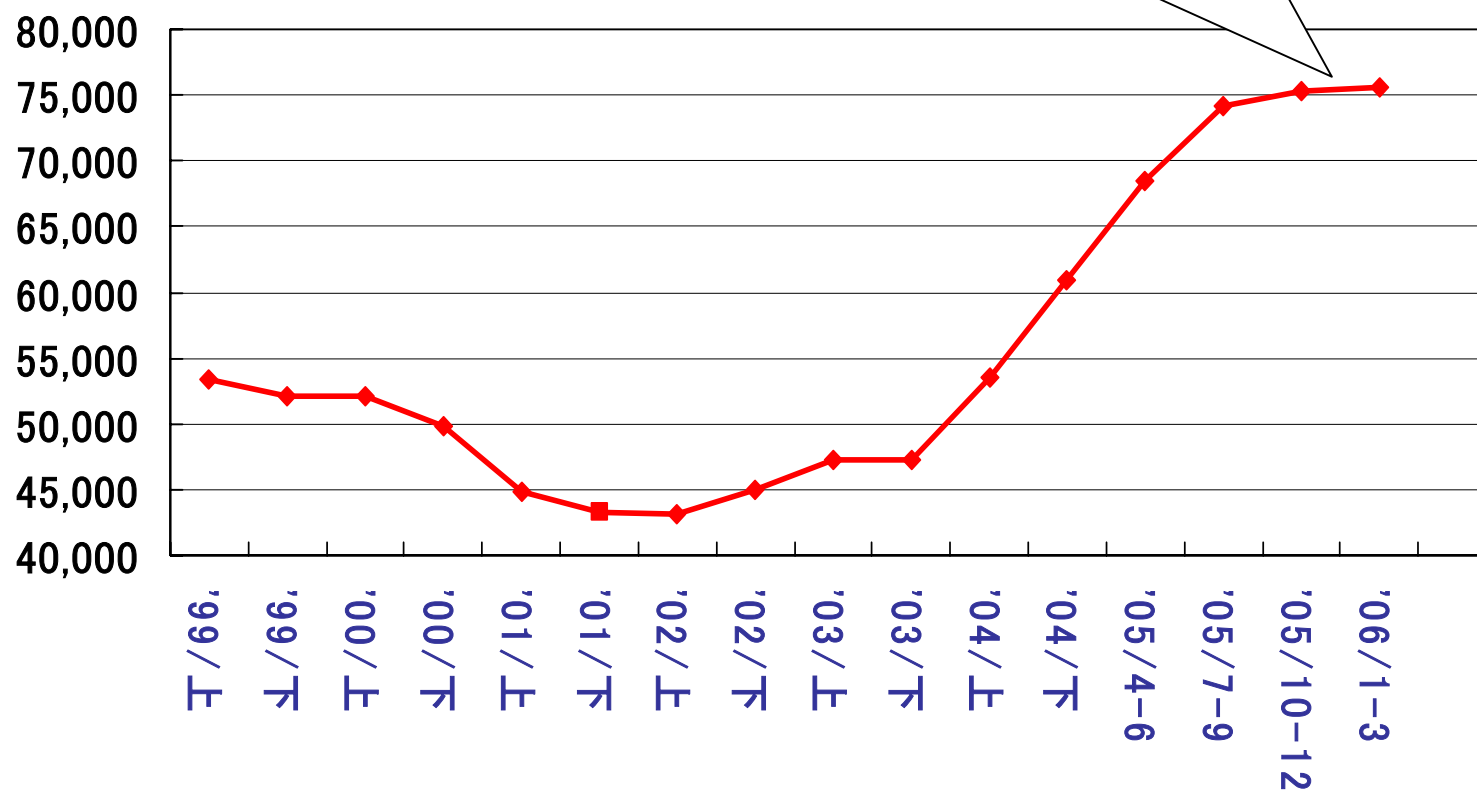


ECO WAY

# 鋼材単価の推移

(単位:円/トン)

対'04年度比+16,000円/t  
 ('04平均57,300円/t  
 ⇒'05平均73,300円/t)





# 鉄鋼)営業利益差異内訳 【05年度⇒06年度】

(単位:億円)

	2005年度実績			2006年度見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
営業利益	689	619	1,309	410	540	950

Δ359

増益要因		減益要因	
コストダウン	+ 80	総平均影響	Δ190
その他	+ 11	減価償却方法変更	Δ 60
		鋼材生産・出荷	Δ 70
		原料価格	Δ 70
		固定費増	Δ 60
合計	+ 9 1	合計	Δ 4 5 0





## セグメントの概況②【電力卸供給】

(単位:億円)

	2005年度 実績①	2006年度 見通し②	差異 ②-①
売上高	652	700	48
営業利益	195	190	△5

・安定／安全な操業により収益を確保。



## セグメントの概況③【アルミ・銅】

(単位:億円)

	2005年度 実績①	2006年度 見通し②	差異 ②-①
売上高	3,049	3,300	251
営業利益	233	200	△33
(内 総平均影響)	(50)	(30)	(△20)

- ・地金価格は高水準で推移すると想定。
- ・自動車向け、ディスク材等のIT関連向けは引き続き堅調。
- ・アルミ印刷版／エアコン用フィン材、エアコン用銅管等では競合が激化。
- ・地金価格の高騰が、製品価格で販売している製品に影響。
- ・機械装置の減価償却方法を定額法から定率法へ変更。(影響額△15億円程度)



# 需要動向と当社販売状況

摘 要	2004年度			2005年度		
	上 期	下 期	年 度	上 期	下 期	年 度
軽圧品需要(千トン)	1,242	1,199	2,441	1,185	1,141	2,326
アルミ板	723	676	1,399	682	640	1,322
アルミ押出	519	523	1,042	503	501	1,004
内 缶材(千トン)	245	194	439	239	196	435
伸銅品需要(千トン)	337	319	656	319	321	640
板 条	238	230	468	231	235	466
銅 管	99	89	188	88	86	174
エアコン内需(万台)			696			736

## <当社の販売状況>

アルミ圧延品国内(千トン)	150	128	278	149	132	281
輸出(千トン)	41	37	78	26	27	53
銅圧延品(千トン)	31	31	62	31	32	63
銅管(千トン)	49	41	90	43	34	77



## セグメントの概況④【機械】

(単位:億円)

	2005年度 実績①	2006年度 見通し②	差異 ②-①
売上高	2,592	2,750	158
営業利益	103	120	17
受注高	2,394	2,320	△74

ハード : 圧縮機・樹脂機械を中心に売上が拡大。

エンジニアリング : エネルギー関連機器を中心に売上が拡大。

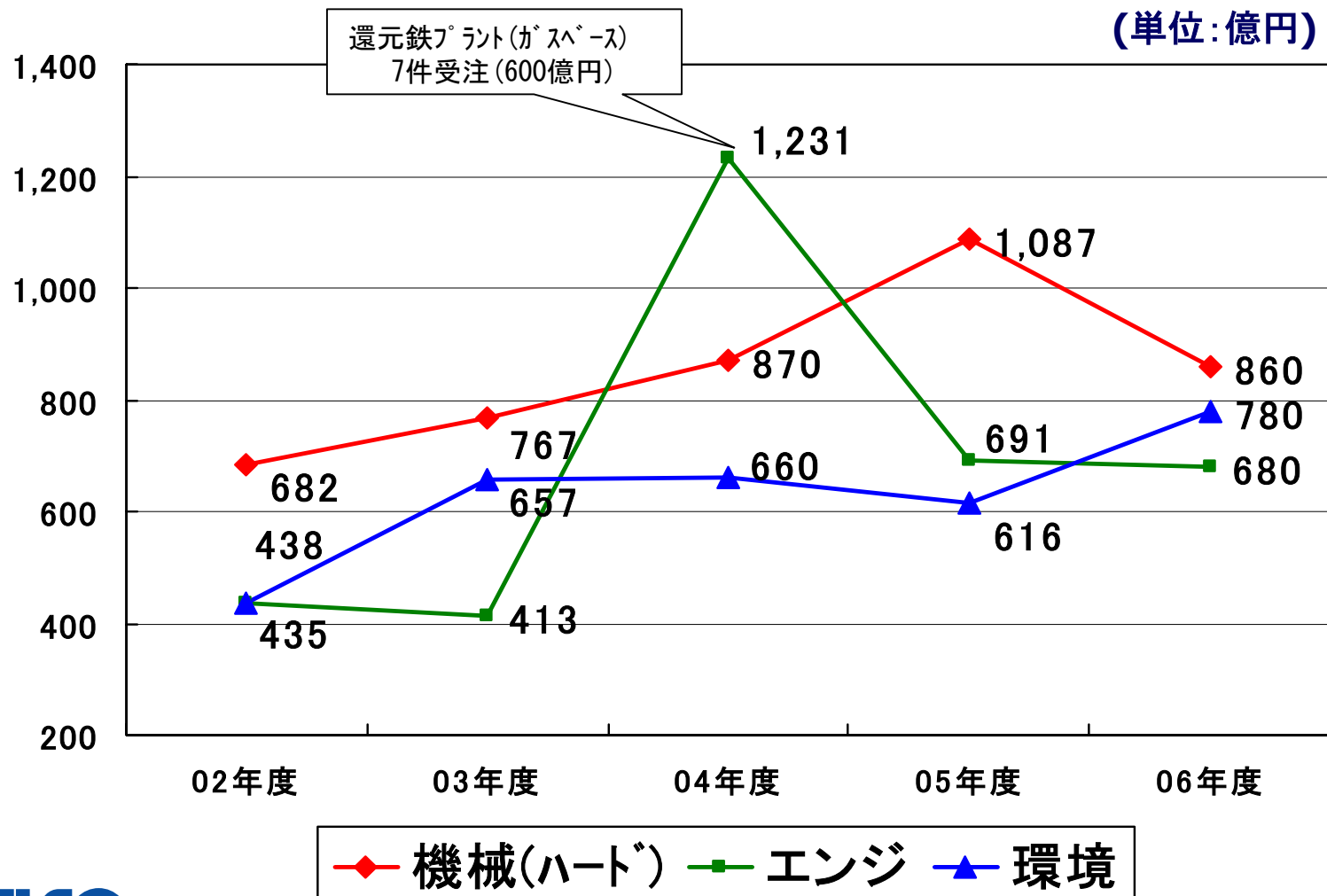
環境 : 公共工事関連は、引き続き厳しい需要環境が継続。

塩ビ・リサイクルプラントが2006年下期から本格稼働。



ECO WAY

# 受注高推移





## セグメントの概況⑤【建設機械】

(単位:億円)

	2005年度 実績①	2006年度 見通し②	差異 ②-①
売上高	2,270	2,300	30
営業利益	88	90	2

- ・油圧ショベルの国内需要は、2005年度並みと想定。  
海外市場は引き続き好調。
- ・生産効率の改善に向け、生産体制の見直しを実施。



ECOWAY

**KOBELCO**

## 需要動向

### 【ショベル需要】

(単位:台)

	2004年度			2005年度			2006年度
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	見通し
国内	12,515	13,005	25,520	13,647	14,499	28,146	28,000
中国	20,428	5,211	25,639	14,703	9,581	24,284	30,000



## セグメントの概況⑥【不動産】

	2005年度 実績①	2006年度 見通し②	(単位:億円) 差異 ②-①
売上高	472	400	△72
営業利益	51	50	△1

- ・賃貸/ビルマネジメントを中心とした安定収益基盤の確立を推進。
- ・2005年度並みのマンション竣工・引渡しを予定。





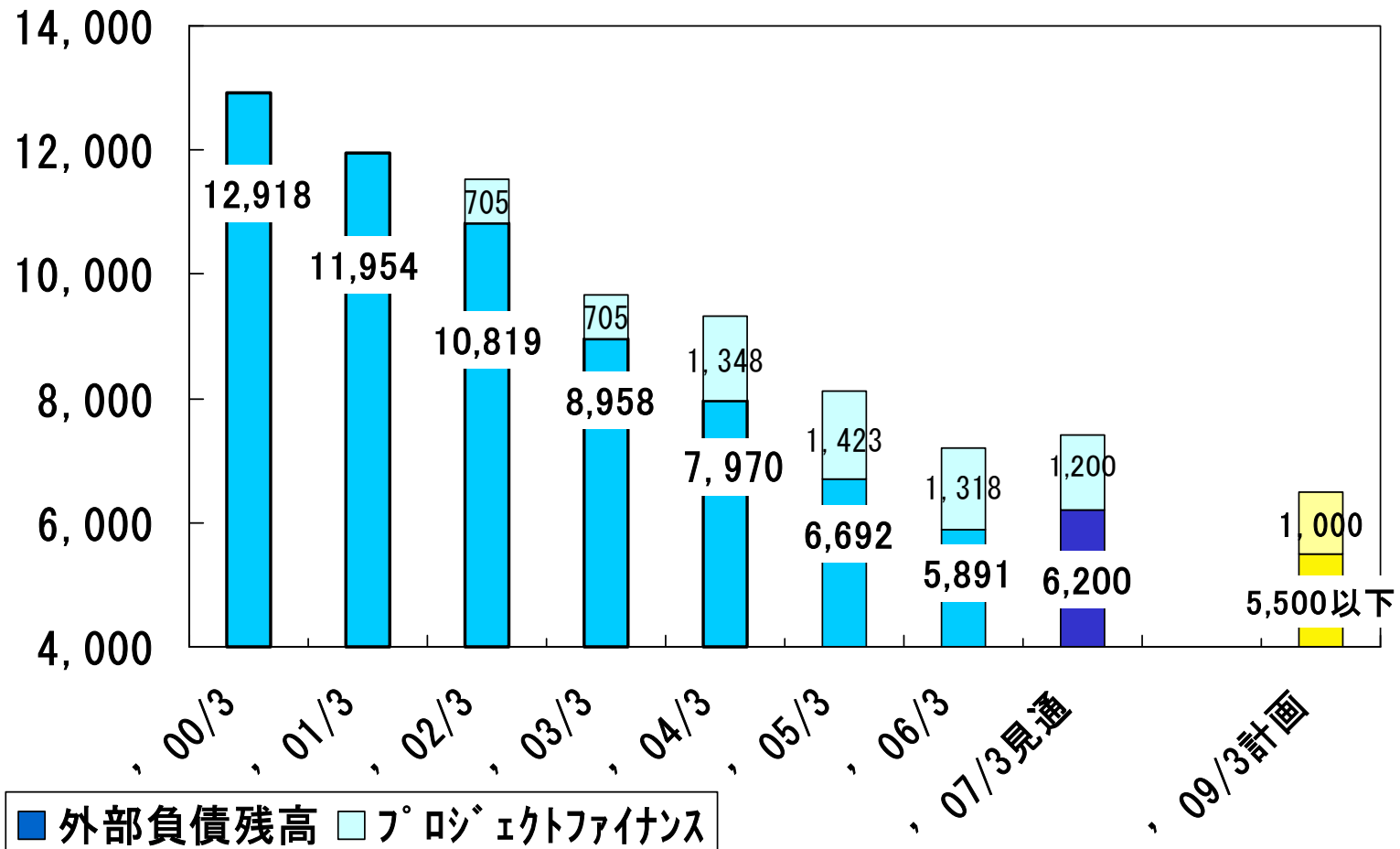
## セグメントの概況⑦【電子材料その他】

	2005年度 実績①	2006年度 見通し②	(単位:億円) 差異 ②-①
売上高	611	650	39
営業利益	174	180	6

- ・液晶配線膜用ターゲット材の需要は引き続き拡大。

# 外部負債残高

(単位: 億円)



# 株主資本の状況

(単位:億円)

	06年度末 見通し
資本金	5,400程度
資本剰余金	
利益剰余金	
評価差額金等	500程度
資本の部合計	5,900程度

D/Eレシオ(表 面)05年度末:1.1倍⇒06年度末:1.05倍

(当社基準)05年度末:1.2倍⇒06年度末:1.15倍



# ご参考



# 2005年度の概況



# 2005年度 実績

(単位:億円)

	2004年度			2005年度			2005年度 見通し
	上期	下期	年度	上期	下期	実績	
売上高	6,847	7,590	14,437	7,895	8,778	16,673	16,600
営業利益	673	991	1,665	1,082	1,121	2,203	2,150
経常利益	451	709	1,160	854	915	1,769	1,700
特別損益	△102	△111	△213	△186	△56	△242	△220
当期利益	156	355	512	367	478	845	800



# 2005年度セグメント別売上高

(単位:億円)

	2004年度			2005年度			2005年度 見通し
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	
鉄鋼関連事業	2,940	3,373	6,313	3,663	3,920	7,583	7,600
電力卸供給関連事業	274	311	586	310	341	652	650
アルミ・銅関連事業	1,459	1,370	2,829	1,524	1,525	3,049	3,000
機械関連事業	919	1,349	2,268	1,138	1,454	2,592	2,650
建設機械関連事業	1,065	1,000	2,066	1,063	1,206	2,270	2,200
不動産関連事業	169	155	324	172	300	472	450
電子材料その他	252	287	540	282	329	611	600
消去	△234	△257	△491	△259	△299	△558	△550
合 計	6,847	7,590	14,437	7,895	8,778	16,673	16,600



# 2005年度 セグメント別営業利益

(単位:億円)

	2004年度			2005年度			2005年度 見通し
	上期	下期	年度	上期	下期	年度	
鉄鋼関連事業	349	569	918	689	619	1,309	1,270
電力卸供給関連事業	96	98	194	83	111	195	190
アルミ・銅関連事業	84	84	169	122	111	233	230
機械関連事業	2	101	103	31	72	103	105
建設機械関連事業	44	27	72	36	51	88	95
不動産関連事業	16	14	30	13	37	51	45
電子材料その他	64	75	140	84	89	174	180
消去	15	20	36	20	27	47	35
合 計	673	991	1,665	1,082	1,121	2,203	2,150





# 全社経常利益差異内訳【04年度⇒05年度】

(単位:億円)

	2004年度実績			2005年度実績		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	451	709	1,160	854	915	1,769
						+609

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+1,050	原料価格	△775
コストダウン	+90	設備保全等	△60
総平均影響	+240	労務費	△60
連結子会社・持分法	+200	為替影響	△45
		その他	△31
合計	+1,580	合計	△971



# 鉄鋼)営業利益差異内訳 【04年度⇒05年度】

(単位:億円)

	2004年度実績			2005年度実績		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
営業利益	349	569	918	689	619	1,309
						+391

増益要因		減益要因	
鋼材生産・出荷	+995	原料価格	△760
コストダウン	+75	設備保全等	△60
総平均影響	+190	労務費	△20
その他	+16	為替影響	△45
合計	+1,276	合計	△885



# 全社経常利益差異内訳【05上期⇒05下期】

(単位:億円)

	2004年度実績			2005年度実績		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	451	709	1,160	854	915	1,769
				└ +61 ─┘		

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 55	原料価格	△ 70
コストダウン	+ 10	設備保全等	△ 15
連結子会社・持分法	+130	労務費	△ 25
その他	+ 51	為替影響	△ 30
		総平均影響	△ 45
合計	+ 2 4 6	合計	△ 1 8 5



# 鉄鋼)営業利益差異内訳 【05上期⇒05下期】

(単位:億円)

	2004年度実績			2005年度実績		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
営業利益	349	569	918	689	619	1,309
				└ +70 ─┘		

増益要因		減益要因	
鋼材生産・出荷	+45	原料価格	△ 60
コストダウン	+10	設備保全等	△ 15
その他	+60	労務費	△ 10
		為替影響	△ 35
		総平均影響	△ 65
合計	+ 1 1 5	合計	△ 1 8 5



# 全社経常利益差異内訳【05年度見通し⇒実績】

(単位:億円)

	2005年度見通し			2005年度実績		
	上期	下期	計	上期	下期	計
経常利益	854	846	1,700	854	915	1,769
						+69

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 15	原料価格	△ 5
連結子会社・持分法	+ 30		
その他	+ 29		
合計	+ 74	合計	△ 5



# 鉄鋼)営業利益差異内訳【05年度見通し⇒実績】

(単位:億円)

	2005年度見通し			2005年度実績		
	上期	下期	計	上期	下期	計
営業利益	689	581	1,270	689	619	1,309
				+39		

増益要因		減益要因	
鋼材生産・出荷	+ 10		
その他	+ 29		
合計	+ 39	合計	0



ECO WAY

**KOBELCO**

# 2006年度の見通し



# 2006年度 見通し

(単位: 億円)

	2005年度			2006年度		
	上期	下期	実績	上期	下期	実績
売上高	7,895	8,778	16,673	8,500	9,000	17,500
営業利益	1,082	1,121	2,203	800	1,000	1,800
経常利益	854	915	1,769	650	800	1,450
特別損益	△186	△56	△242	0	0	0
当期利益	367	478	845	400	450	850





# 2006年度 セグメント別売上高

(単位:億円)

	2005年度			2006年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
鉄鋼関連事業	3,663	3,920	7,583	3,850	4,050	7,900
電力卸供給関連事業	310	341	652	350	350	700
アルミ・銅関連事業	1,524	1,525	3,049	1,650	1,650	3,300
機械関連事業	1,138	1,454	2,592	1,250	1,500	2,750
建設機械関連事業	1,063	1,206	2,270	1,150	1,150	2,300
不動産関連事業	172	300	472	200	200	400
電子材料その他	282	329	611	300	350	650
消去	△259	△299	△558	△250	△250	△500
合 計	7,895	8,778	16,673	8,500	9,000	17,500



# 2006年度 セグメント別営業利益

(単位: 億円)

	2005年度			2006年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
鉄鋼関連事業	689	619	1,309	410	540	950
電力卸供給関連事業	83	111	195	95	95	190
アルミ・銅関連事業	122	111	233	100	100	200
機械関連事業	31	72	103	35	85	120
建設機械関連事業	36	51	88	45	45	90
不動産関連事業	13	37	51	25	25	50
電子材料その他	84	89	174	80	100	180
消去	20	27	47	10	10	20
合 計	1,082	1,121	2,203	800	1,000	1,800

# 全社経常利益差異内訳【05年度⇒06年度】

(単位: 億円)

	2005年度実績			2006年度見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	854	915	1,769	650	800	1,450
						$\Delta 319$

増益要因		減益要因	
コストダウン	+100	原料価格	$\Delta 90$
その他	+ 41	固定費増	$\Delta 80$
		総平均影響	$\Delta 210$
		減価償却方法変更	$\Delta 80$
合計	+ 1 4 1	合計	$\Delta 4 6 0$



# 鉄鋼)営業利益差異内訳【05年度⇒06年度】

(単位:億円)

	2005年度実績			2006年度見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
営業利益	689	619	1,309	410	540	950
				$\Delta 359$		

増益要因		減益要因	
コストダウン	+ 80	総平均影響	$\Delta 190$
その他	+ 11	減価償却方法変更	$\Delta 60$
		鋼材生産・出荷	$\Delta 70$
		原料価格	$\Delta 70$
		固定費増	$\Delta 60$
合計	+ 91	合計	$\Delta 450$



# 全社経常利益差異内訳【05年度下期⇒06年度上期】

(単位:億円)

	2005年度実績			2006年度見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	854	915	1,769	650	800	1,450
						$\Delta 265$

増益要因		減益要因	
コストダウン	+ 30	生産・出荷	$\Delta 30$
		原料価格	$\Delta 20$
		固定費増	$\Delta 50$
		総平均影響	$\Delta 75$
		減価償却方法変更	$\Delta 25$
		その他	$\Delta 95$
合計	+ 30	合計	$\Delta 295$



# 鉄鋼)営業利益差異内訳【05年度下期⇒06年度上期】

(単位:億円)

	2005年度実績			2006年度見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
営業利益	689	619	1,308	410	540	950

△209

増益要因		減益要因	
コストダウン	+ 20	鋼材生産・出荷	△ 50
		原料価格	△ 15
		固定費増	△ 25
		総平均影響	△ 60
		減価償却方法変更	△ 20
		その他	△ 59
合計	+ 20	合計	△ 229



# 全社経常利益差異内訳【06年度上期⇒06年度下期】

(単位:億円)

	2005年度実績			2006年度見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	854	915	1,769	650	800	1,450
				└ +150 ─┘		

増益要因		減益要因	
生産・出荷	+ 70	減価償却方法変更	△ 30
原料価格	+ 20		
コストダウン	+ 25		
その他	+ 65		
合計	+ 1 8 0	合計	△ 3 0



# 鉄鋼)営業利益差異内訳【06年度上期⇒06年度下期】

(単位:億円)

	2005年度実績			2006年度見通し		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
経常利益	689	619	1,309	410	540	950
				↓ +130 ↑		

増益要因		減益要因	
鋼材生産・出荷	+ 30	減価償却方法変更	△ 20
原料価格	+ 20		
コストダウン	+ 20		
その他	+ 80		
合計	+ 1 5 0	合計	△ 2 0





# 設備投資の状況

(単位：億円)

	2003年度 実績	2004年度 実績	2005年度 実績	03-05 累計	2006年度 見通し
設備投資計上 (IPP除く)	488	650	922	2,060	1,520
対減価償却費	67%	96%	138%	99%	201%
// (IPP)	561	10	1	572	0
// (IPP含む)	1,049	660	923	2,632	1,520
(中期計画)	(980)	(450)	(450)	(1,880)	

減価償却費 (IPP除く)	732	678	670	2,080	755
// (IPP)	69	124	125	318	125
// (IPP含む)	792	802	795	2,389	880



# 事業部門別設備投資-計上

(単位:億円)

	2005年度 実績①	2006年度 見通し②	差異 ②-①
鉄 鋼	496	920	424
I P P	1	0	△1
アルミ・銅	147	260	113
機 械	144	150	6
その他	135	190	55
合 計	923	1,520	597



# 事業部門別減価償却費

(単位:億円)

	2005年度 実績①	2006年度 見通し②	差異 ②-①
鉄 鋼	408	465	57
I P P	125	125	0
アルミ・銅	136	150	14
機 械	86	90	4
その他	40	50	10
合 計	795	880	85



# フリーキャッシュフロー

(単位: 億円)

	2005年度 実績 ①	2006年度 見通し ①	差異 ②-①
営業キャッシュフロー	1,832	900	△932
投資キャッシュフロー	△880	△1,290	△410
フリーキャッシュフロー	952	△390	△1,342
IPP含む フリーキャッシュフロー	1,040	△390	△1,430

# 要員推移

(単位：人)

	2005年度 実績①	2006年度 見通し②	差異 ②-①
連結要員	29,068	30,500	1,432
企画職	3,755	3,800	45
技術職	4,918	5,200	282
単独合計	8,673	9,000	327



# 連結損益内訳

(単位：億円)

		2005年度		2006年度	
		経常 損益	当期 損益	経常 損益	当期 損益
単 独 損 益		1,106	491	950	650
連 結 調 整	連結子会社損益合計	643	325	600	320
	持分法適用会社損益合計	105	105	120	120
	配当金	△75	△75	△230	△230
	その他	△10	△1	10	△10
合計		663	354	500	200
連 結 損 益		1,769	845	1,450	850

## 将来見通しに関する注意事項

- 本資料の中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。
- 上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。また、要因はこれらに限定されるわけではありません。
  - 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
  - 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
  - 為替相場の変動
  - 原材料のアベイラビリティや市況
  - 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M&Aなどの事業展開
  - 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化